



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月11日

上場会社名 太陽化学株式会社

上場取引所 名

コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当兼業務支援部長兼企業統括部長 (氏名) 増川 尚利

TEL 059-340-0802

定時株主総会開催予定日 2020年6月24日

配当支払開始予定日

2020年6月2日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	40,364	0.6	4,630	10.5	4,667	13.0	3,167	20.3
2019年3月期	40,130	3.7	4,189	10.2	4,129	8.3	2,632	1.9

(注) 包括利益 2020年3月期 2,761百万円 (6.4%) 2019年3月期 2,594百万円 (14.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	174.64		8.3	9.5	11.5
2019年3月期	143.71		7.1	8.5	10.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 55百万円 2019年3月期 79百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	49,751	40,078	78.8	2,163.23
2019年3月期	48,813	38,297	76.7	2,055.35

(参考) 自己資本 2020年3月期 39,189百万円 2019年3月期 37,422百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	4,217	2,869	1,002	6,679
2019年3月期	3,266	3,654	2,081	6,432

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		10.00		34.00	44.00	802	30.6	2.2
2020年3月期		10.00		43.00	53.00	960	30.3	2.5
2021年3月期(予想)								

(注)2021年3月期の配当につきましては「未定」とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により、その影響を現時点で合理的に算定することは非常に困難であるため、「未定」とさせていただきます。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.12「3.連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	23,513,701 株	2019年3月期	23,513,701 株
期末自己株式数	2020年3月期	5,397,530 株	2019年3月期	5,306,557 株
期中平均株式数	2020年3月期	18,138,839 株	2019年3月期	18,320,200 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移しました。一方海外は、米中間の貿易摩擦、英国のEU離脱問題及び中東情勢の不安定化など、依然として不透明な状況が続いております。また、国内外における新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界的な景気低迷が長期化するリスクが高まっております。

当事業の主要分野であります食品業界におきましては、消費税増税に伴う節約志向により、企業を取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当連結会計年度の売上高は403億64百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は46億30百万円（前年同期比10.5%増）、経常利益は46億67百万円（前年同期比13.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は31億67百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

当連結会計年度におけるセグメントの概況は次のとおりであります。

■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、国内市場の飲料用途が減少しましたが、欧州市場の医療用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

カテキンは、アジア市場での飲料用途及び米国市場のサプリメント用途が増加しましたが、国内市場でのサプリメント・飲料用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

ミネラル製剤は、国内市場及び欧米市場でのサプリメント用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

テアニンは、国内市場及び米国市場のサプリメント用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

ビタミン製剤は、国内市場の飲料用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、79億44百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は、14億68百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤等の品質改良剤を製造、販売しております。

化粧品、トイレタリー用途は、国内市場及び海外市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

飲料用途は、国内市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

一般食品用途は、堅調に推移しました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、102億66百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は、19億48百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

■ アグリフード事業

乳製品、飲料、菓子、パン、ハム・ソーセージ、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、フルーツ加工品、農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、国内市場のめん用途等の粉末卵が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

即席食品用素材は、国内市場の即席めん用途は堅調に推移しましたが、菓子・シリアル用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

フルーツ加工品は、国内市場のパン用途及びヨーグルト用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

安定剤は、国内市場の惣菜用途及びデザート用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、220億12百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は、11億85百万円（前年同期比40.8%増）となりました。

■ その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は、1億41百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は、28百万円（前年同期比27.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

資産につきましては、前連結会計年度に比べ9億38百万円増加し、497億51百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4億92百万円増加、商品及び製品が5億16百万円増加、仕掛品が1億32百万円増加、有形固定資産が11億41百万円の増加、関係会社長期貸付金が1億50百万円増加、受取手形及び売掛金が8億52百万円の減少、原材料及び貯蔵品が5億17百万円の減少となったことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度に比べ8億42百万円減少し、96億72百万円となりました。これは主に、未払法人税等が2億16百万円増加、支払手形及び買掛金が10億19百万円の減少となったことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度に比べ17億81百万円増加し、400億78百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益31億67百万円を計上したことによる増加、自己株式の取得による1億56百万円の減少、その他有価証券評価差額金が1億79百万円の減少、為替換算調整勘定が2億66百万円減少、剰余金の配当により8億円が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、66億79百万円（前連結会計年度より2億46百万円増加、3.8%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動により42億17百万円の資金を獲得いたしました（前連結会計年度より9億50百万円増加）。

その主な理由は、税金等調整前当期純利益が45億30百万円、自己金融効果としての減価償却費計上11億38百万円、売上債権の減少7億90百万円、利息及び配当金の受取額1億7百万円による資金の増加の他、受取利息及び受取配当金1億12百万円、たな卸資産の増加2億26百万円、仕入債務の減少9億61百万円、法人税等の支払10億86百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動により28億69百万円の資金を支出いたしました（前連結会計年度より7億84百万円の支出の減少）。

その主な理由は、定期預金の払戻による収入が8億40百万円、定期預金の預入による支出が11億21百万円、有形固定資産の取得による支出が21億12百万円、長期貸付けによる支出が4億43百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動により10億2百万円の資金を支出いたしました（前連結会計年度より10億79百万円の支出の減少）。

その主な理由は、短期借入れによる収入116億円の他、短期借入金の返済による支出116億円、自己株式の取得による支出が1億56百万円、配当金の支払額が8億円になったことによるものであります。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最も重要な課題のひとつに位置付けております。利益配分は安定的な基準配当年間20円に業績に応じた利益還元分を加え、配当性向30%を目処として継続的に行うことと、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な将来に備えた内部留保の充実を基本方針としております。

当連結会計年度の期末配当金につきましては、1株につき43円とさせていただきます。既に2019年12月3日に実施済みの中間配当金1株当たり10円とあわせまして、年間配当金は1株当たり53円となります。また、次期の配当金につきましては、連結業績予想を見通すことが困難なため、現時点では「未定」とさせていただきます。今後、連結業績予想の開示が可能となった段階で、配当の見通しについてもあわせて開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,562,891	8,055,007
受取手形及び売掛金	11,255,877	10,402,979
商品及び製品	3,374,156	3,890,881
仕掛品	391,360	524,338
原材料及び貯蔵品	2,558,150	2,040,317
その他	594,243	538,635
貸倒引当金	△12,016	△10,783
流動資産合計	25,724,663	25,441,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,291,666	19,335,630
減価償却累計額	△13,156,721	△13,204,005
建物及び構築物(純額)	5,134,944	6,131,625
機械装置及び運搬具	15,754,609	16,026,079
減価償却累計額	△13,741,440	△13,948,046
機械装置及び運搬具(純額)	2,013,169	2,078,032
工具、器具及び備品	2,402,062	2,380,739
減価償却累計額	△2,077,342	△2,089,201
工具、器具及び備品(純額)	324,719	291,538
土地	8,278,997	8,231,806
その他	56,975	228,141
減価償却累計額	—	△11,093
その他(純額)	56,975	217,048
有形固定資産合計	15,808,807	16,950,051
無形固定資産	318,081	291,736
投資その他の資産		
投資有価証券	4,738,990	4,732,075
関係会社長期貸付金	1,447,861	1,598,615
繰延税金資産	28,755	60,378
その他	758,871	690,126
貸倒引当金	△12,950	△12,950
投資その他の資産合計	6,961,528	7,068,246
固定資産合計	23,088,417	24,310,034
資産合計	48,813,081	49,751,410

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,458,416	5,439,087
未払法人税等	575,978	792,054
賞与引当金	232,089	238,575
その他	2,078,203	2,056,352
流動負債合計	9,344,687	8,526,069
固定負債		
繰延税金負債	537,500	468,500
退職給付に係る負債	192,951	180,016
役員退職慰労引当金	426,514	450,383
その他	14,000	47,990
固定負債合計	1,170,966	1,146,890
負債合計	10,515,653	9,672,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,340,648	7,340,648
利益剰余金	25,556,059	27,923,215
自己株式	△4,826,964	△4,983,097
株主資本合計	35,800,364	38,011,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,737,748	1,558,512
繰延ヘッジ損益	△6,455	△10,419
為替換算調整勘定	△74,126	△340,674
退職給付に係る調整累計額	△35,526	△29,412
その他の包括利益累計額合計	1,621,640	1,178,005
非支配株主持分	875,423	889,056
純資産合計	38,297,428	40,078,449
負債純資産合計	48,813,081	49,751,410

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	40,130,482	40,364,765
売上原価	29,657,433	29,208,246
売上総利益	10,473,048	11,156,518
販売費及び一般管理費	6,283,208	6,526,178
営業利益	4,189,839	4,630,340
営業外収益		
受取利息	48,016	48,735
受取配当金	58,013	63,691
受取賃貸料	25,837	27,895
その他	31,916	27,421
営業外収益合計	163,783	167,743
営業外費用		
支払利息	7,509	5,243
貸与資産減価償却費	7,596	6,587
持分法による投資損失	79,092	55,824
為替差損	80,156	27,641
支払補償費	11,919	8,241
その他	37,962	27,410
営業外費用合計	224,236	130,949
経常利益	4,129,386	4,667,134
特別利益		
固定資産売却益	—	29,304
投資有価証券売却益	50,920	—
特別利益合計	50,920	29,304
特別損失		
固定資産除却損	109,187	165,768
投資有価証券評価損	115,543	—
特別損失合計	224,730	165,768
税金等調整前当期純利益	3,955,575	4,530,670
法人税、住民税及び事業税	1,095,922	1,297,981
法人税等調整額	114,849	△32,418
法人税等合計	1,210,771	1,265,563
当期純利益	2,744,804	3,265,107
非支配株主に帰属する当期純利益	111,998	97,334
親会社株主に帰属する当期純利益	2,632,806	3,167,773

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	2,744,804	3,265,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70,046	△160,163
為替換算調整勘定	△96,035	△318,239
退職給付に係る調整額	5,378	6,113
持分法適用会社に対する持分相当額	10,086	△31,687
その他の包括利益合計	△150,616	△503,977
包括利益	2,594,187	2,761,130
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,353,968	2,724,138
非支配株主に係る包括利益	240,219	36,992

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,730,621	7,918,674	23,712,492	△4,613,233	34,748,554
当期変動額					
剰余金の配当			△789,239		△789,239
親会社株主に帰属する当期純利益			2,632,806		2,632,806
自己株式の取得				△213,731	△213,731
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△578,025			△578,025
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△578,025	1,843,566	△213,731	1,051,809
当期末残高	7,730,621	7,340,648	25,556,059	△4,826,964	35,800,364

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,808,584	△17,647	150,446	△40,905	1,900,477	1,135,386	37,784,419
当期変動額							
剰余金の配当							△789,239
親会社株主に帰属する当期純利益							2,632,806
自己株式の取得							△213,731
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							△578,025
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△70,835	11,191	△224,572	5,378	△278,837	△259,963	△538,800
当期変動額合計	△70,835	11,191	△224,572	5,378	△278,837	△259,963	513,008
当期末残高	1,737,748	△6,455	△74,126	△35,526	1,621,640	875,423	38,297,428

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,730,621	7,340,648	25,556,059	△4,826,964	35,800,364
当期変動額					
剰余金の配当			△800,616		△800,616
親会社株主に帰属する当期純利益			3,167,773		3,167,773
自己株式の取得				△156,132	△156,132
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	2,367,156	△156,132	2,211,024
当期末残高	7,730,621	7,340,648	27,923,215	△4,983,097	38,011,388

	その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算調 整勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,737,748	△6,455	△74,126	△35,526	1,621,640	875,423	38,297,428
当期変動額							
剰余金の配当							△800,616
親会社株主に帰属する当期純利益							3,167,773
自己株式の取得							△156,132
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△179,236	△3,963	△266,548	6,113	△443,634	13,632	△430,002
当期変動額合計	△179,236	△3,963	△266,548	6,113	△443,634	13,632	1,781,021
当期末残高	1,558,512	△10,419	△340,674	△29,412	1,178,005	889,056	40,078,449

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,955,575	4,530,670
減価償却費	1,136,046	1,138,686
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18,576	△1,023
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,020	6,486
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14,219	△994
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	26,685	23,869
受取利息及び受取配当金	△106,029	△112,426
支払利息	7,509	5,243
為替差損益 (△は益)	△38,389	30,680
持分法による投資損益 (△は益)	79,092	55,824
投資有価証券売却損益 (△は益)	△50,920	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	115,543	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△29,304
固定資産除却損	41,887	63,615
売上債権の増減額 (△は増加)	△378,681	790,581
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△666,341	△226,787
その他の資産の増減額 (△は増加)	335,283	27,039
仕入債務の増減額 (△は減少)	△299,731	△961,185
未払金の増減額 (△は減少)	△7,036	△93,189
その他の負債の増減額 (△は減少)	183,293	△46,454
その他	6,104	508
小計	4,303,075	5,201,840
利息及び配当金の受取額	106,272	107,486
利息の支払額	△7,509	△5,243
法人税等の支払額	△1,134,859	△1,086,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,266,978	4,217,405
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,031,211	△1,121,955
定期預金の払戻による収入	99,180	840,977
有形固定資産の取得による支出	△2,374,611	△2,112,173
有形固定資産の売却による収入	—	66,385
投資有価証券の取得による支出	△80,578	△26,660
投資有価証券の売却による収入	70,920	—
無形固定資産の取得による支出	△172,715	△71,887
長期貸付けによる支出	△165,000	△443,864
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,654,017	△2,869,178

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,600,000	11,600,000
短期借入金の返済による支出	△11,600,000	△11,600,000
自己株式の取得による支出	△213,731	△156,132
配当金の支払額	△789,239	△800,616
非支配株主への配当金の支払額	△19,511	△23,332
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,058,808	—
その他	—	△22,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,081,290	△1,002,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,610	△99,225
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,478,939	246,714
現金及び現金同等物の期首残高	8,911,392	6,432,452
現金及び現金同等物の期末残高	6,432,452	6,679,166

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」及び米国会計基準ASU第2016-02「リース」の適用)

在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」及び米国会計基準ASU第2016-02「リース」を第1四半期連結会計期間より適用し、原則としてすべての借手としてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上する方法に変更しております。この変更による当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ニュートリション事業」、「インターフェイスソリューション事業」及び「アグリフード事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ニュートリション事業」は、カテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。「インターフェイスソリューション事業」は、乳化剤等の品質改良剤を製造、販売しております。「アグリフード事業」は、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、フルーツ加工品、農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,745,939	9,772,352	22,480,411	39,998,703	131,778	40,130,482	—	40,130,482
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,745,939	9,772,352	22,480,411	39,998,703	131,778	40,130,482	—	40,130,482
セグメント利益	1,541,831	1,783,602	841,832	4,167,266	22,573	4,189,839	—	4,189,839
セグメント資産	7,042,767	9,397,030	18,774,421	35,214,219	85,957	35,300,177	13,512,904	48,813,081
その他の項目								
減価償却費のれんの償却額	267,156	334,362	534,172	1,135,691	354	1,136,046	—	1,136,046
持分法適用会社への投資額	12,608	—	—	12,608	—	12,608	—	12,608
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	60,752	125,113	747,882	933,748	—	933,748	—	933,748
	704,598	672,754	1,255,074	2,632,428	—	2,632,428	—	2,632,428

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業ではありません。

2. 「調整額」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,944,336	10,266,648	22,012,193	40,223,178	141,586	40,364,765	—	40,364,765
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,944,336	10,266,648	22,012,193	40,223,178	141,586	40,364,765	—	40,364,765
セグメント利益	1,468,137	1,948,325	1,185,103	4,601,567	28,773	4,630,340	—	4,630,340
セグメント資産	7,760,071	10,031,921	18,315,955	36,107,948	94,858	36,202,806	13,548,603	49,751,410
その他の項目								
減価償却費のれんの償却額	253,932	363,070	521,506	1,138,508	178	1,138,686	—	1,138,686
持分法適用会社への投資額	—	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	80,512	327,749	721,337	1,129,599	—	1,129,599	—	1,129,599
	649,012	647,459	1,080,609	2,377,081	—	2,377,081	—	2,377,081

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2. 「調整額」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,055.35円	2,163.23円
1株当たり当期純利益	143.71円	174.64円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	2,632,806	3,167,773
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	2,632,806	3,167,773
普通株式の期中平均株式数(株)	18,320,200	18,138,839

(重要な後発事象)

該当事項はありません。